

平成 2 7 年

愛知県観光レクリエーション利用者統計

(平成 3 0 年 3 月 一部修正)

平成 2 7 年 1 月 ~ 1 2 月

振興部観光局観光振興課



ま え が き

本県では、県内の観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光入込客数）を把握し、観光振興を図る上での基礎資料とするために、市町村を通じて、毎年、観光レクリエーション利用者統計調査を実施しております。

本書は、平成27年の観光レクリエーション利用者統計の調査結果をとりまとめたものです。

観光レクリエーション利用者統計は、県内の各観光レクリエーション資源・施設を訪れた客数の合計人数（人・地点）で表したものであり、各地域内での観光レクリエーション活動の発生量の目安として参考にいただければ幸いです。

なお、調査にあたり多大なご協力をいただきました各市町村、各施設の関係者の皆様に対し、厚くお礼申し上げます。

平成28年7月

愛知県振興部観光局観光振興課

目 次

第1 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査期間	1
3 調査内容	1
4 調査依頼先	1
5 調査対象	1
6 その他	2
第2 観光レクリエーション利用者統計	4
1 利用者総数の推移	4
2 月別利用者数	4
3 施設等区分別利用者数等	5
4 地域別利用者割合及び利用者数の推移	6
参考データ	11
1 観光レクリエーション利用者統計利用者数上位観光資源	11
(1) 全体	11
(2) 施設等区分別	12
2 観光レクリエーション利用者統計年別・地域別・施設区分別利用者数・構成比	16
(1) 年別・地域別利用者数	16
(2) 月別・地域別利用者数	16
(3) 地域別・施設等区分別利用者数及び構成比	17
3 観光レクリエーション利用者統計地域別・市町村別集計明細表	18
【付録】	
宿泊者統計（平成27年）	26
1 延べ宿泊者数	26
2 外国人延べ宿泊者数	27

第1 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、県内の観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光入込客数）及び宿泊施設の利用者数を把握し、観光行政を推進する上での基礎資料とすることを目的として実施している。

2 調査期間

平成27年1月1日から平成27年12月31日

3 調査内容

県内観光レクリエーション資源・施設における利用者数（観光入込客数）を、県内各市町村からの報告に基づき集計。

ア 観光レクリエーション資源・施設別

イ 月別

ウ 施設等区分（※）別

自然、歴史・文化、温泉・健康、スポーツ・レクリエーション、都市型観光（買い物・食等）、行祭事・イベント、その他

※「観光入込客統計に関する共通基準」と同様の区分

エ 地域別

地域区分については、別表「地域区分一覧」による。

4 調査依頼先

県内54市町村

5 調査対象

以下の3つの要件を満たす観光地点。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを対象として取り扱うものとする。

①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。

②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。

③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

6 その他

(1) 観光レクリエーション利用者統計は、平成22年より調査対象の要件を変更したため、平成21年以前のデータとは比較できない。

これは、観光庁が、都道府県間で比較可能となる「観光入込客統計に関する共通基準」を平成21年12月に策定したことから、観光レクリエーション利用者統計の調査対象をこの共通基準に示された要件に合わせたことによる。

(2) 観光レクリエーション利用者統計の集計結果は、特に補正を行わない単純合計（人・地点）である。なお、数値の単位未満は、四捨五入することを原則としており、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。

地域区分一覧

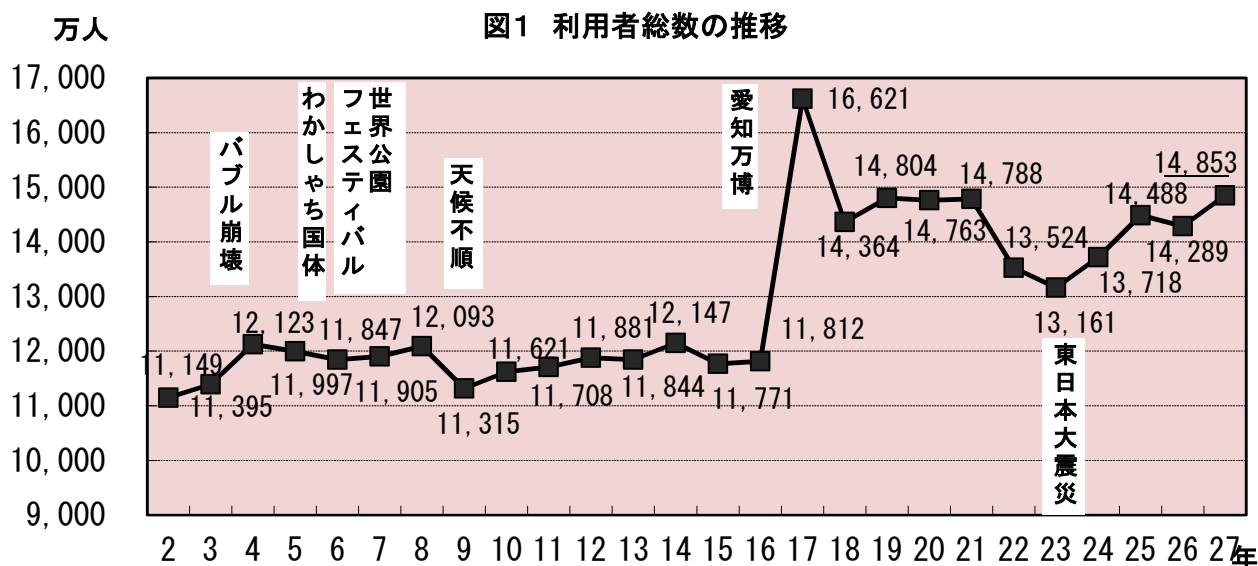
地域	市町村
①名古屋地域 (1)	名古屋市
②尾張北部地域 (16)	豊山町 北名古屋市 清須市 豊明市 東郷町 日進市 長久手市 瀬戸市 春日井市 尾張旭市 犬山市 小牧市 扶桑町 大口町 江南市 岩倉市
③一宮・尾張西部地域 (9)	一宮市 稲沢市 津島市 あま市 大治町 蟹江町 愛西市 弥富市 飛島村
④知多・衣浦東部地域 (13)	東海市 大府市 知多市 東浦町 阿久比町 常滑市 半田市 武豊町 刈谷市 安城市 知立市 高浜市 碧南市
⑤岡崎・西三河内陸地域 (3)	岡崎市 豊田市 みよし市
⑥新城・設楽地域 (4)	新城市 設楽町 東栄町 豊根村
⑦豊橋・三河湾地域 (8)	美浜町 南知多町 西尾市 幸田町 蒲郡市 田原市 豊橋市 豊川市

* () は、構成市町村数。

第2 観光レクリエーション利用者統計

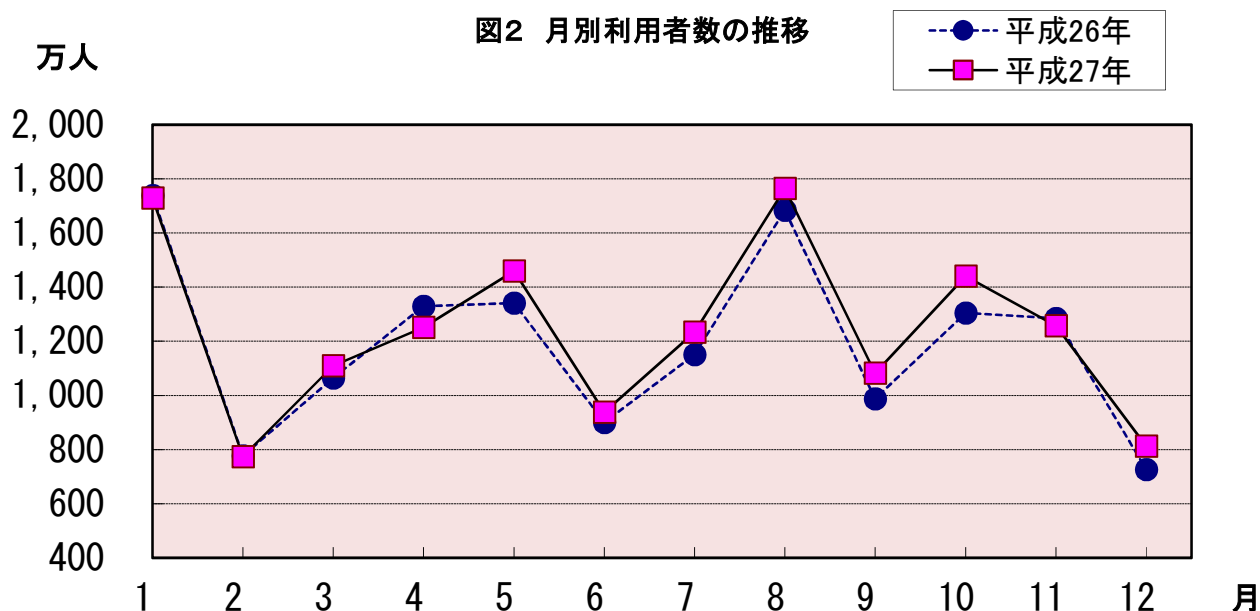
1 利用者総数の推移

平成27年の愛知県内における観光レクリエーション資源・施設利用者総数は、1億4,852万5,273人となった。これは、平成26年の1億4,288万9,171人より3.94%増となった。(図1)



2 月別利用者数

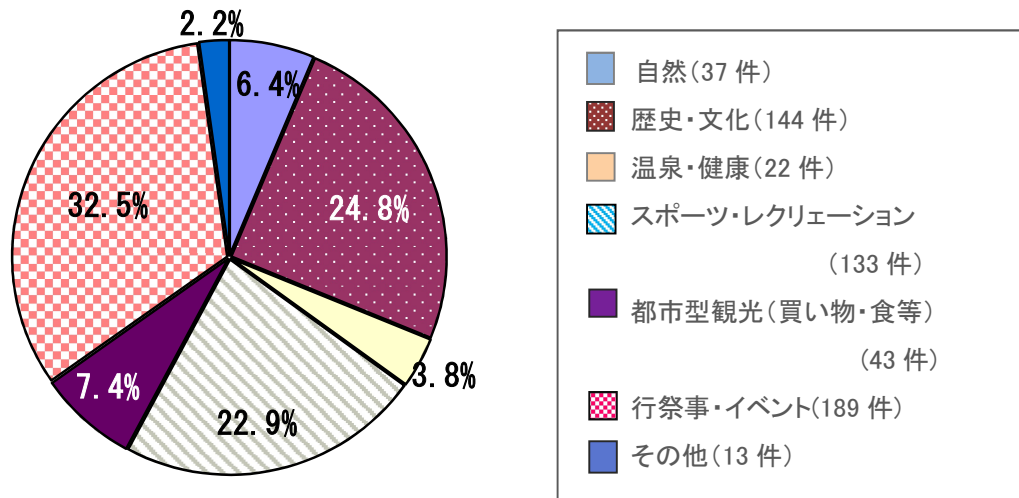
月別の利用者数を見ると、1月が1,729万人、8月が1,764万人と多く、2月が774万人、12月が813万人と少なくなっており、例年(愛知万博が開催された平成17年を除く。)とほぼ同じ傾向である。(図2)



3 施設等区分別利用者数等

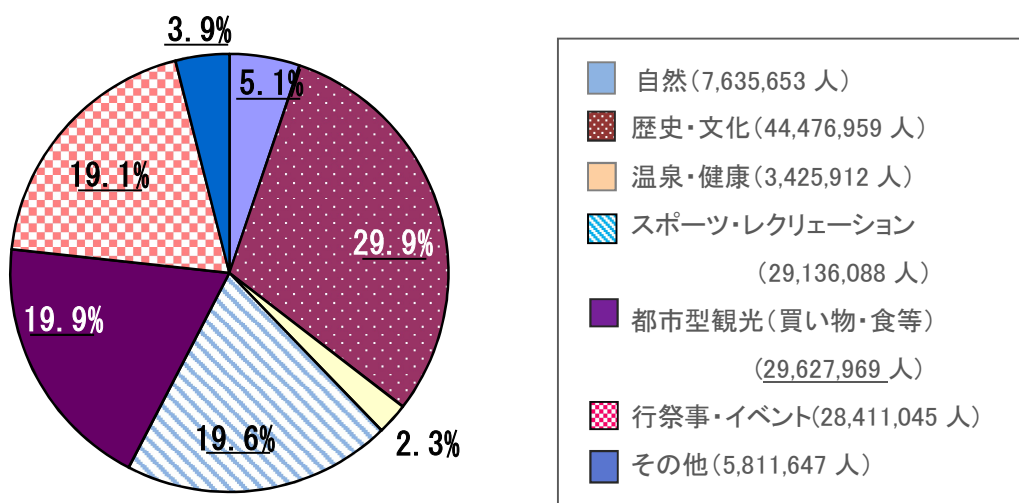
施設等を区分別に見ると、市町村から報告のあった 581 件のうち、「行祭事・イベント」(189 件：32.5%)が最も多く、次いで、「歴史・文化」(144 件：24.8%)、「スポーツ・レクリエーション」(133 件：22.9%)の順となっている。(図 3-1)

図3-1 施設等区分別件数の割合



また、施設等区分別利用者数を見ると、利用者総数 148,525,273 人のうち「歴史・文化」(44,476,959 人：29.9%)が最も多く、次いで「都市型観光」(29,627,969 人：19.9%)、「スポーツ・レクリエーション」(29,136,088 人：19.6%)、「行祭事・イベント」(28,411,045 人：19.1%)の順となっている。(図 3-2)

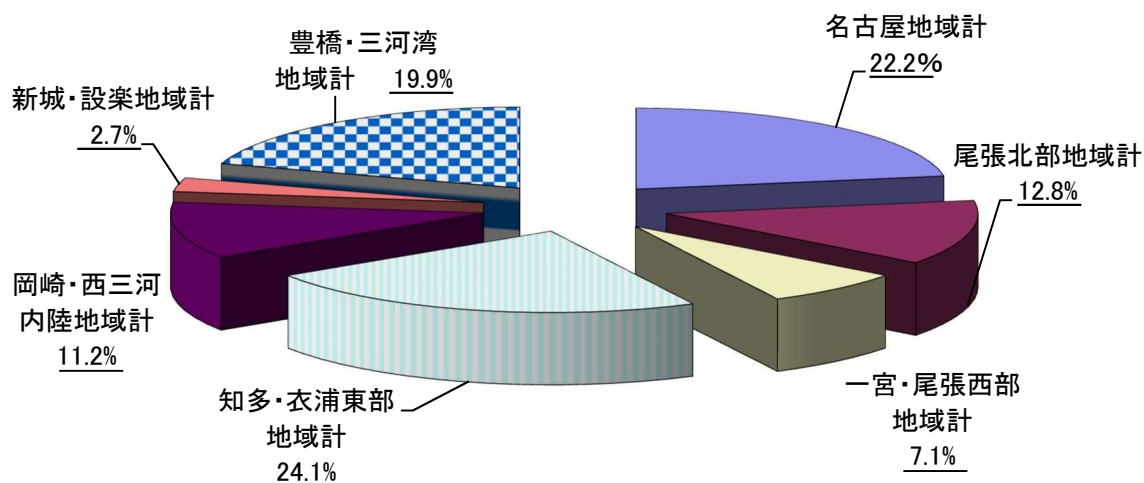
図3-2 施設等区分別利用者数の割合



4 地域別利用者割合及び利用者数の推移

地域別利用者割合では、知多・衣浦東部地域（35,739,251人：24.1%）が最も多く、次いで、名古屋地域（32,944,576人：22.2%）、豊橋・三河湾地域（29,560,751人：19.9%）と続いている。（図4-1）

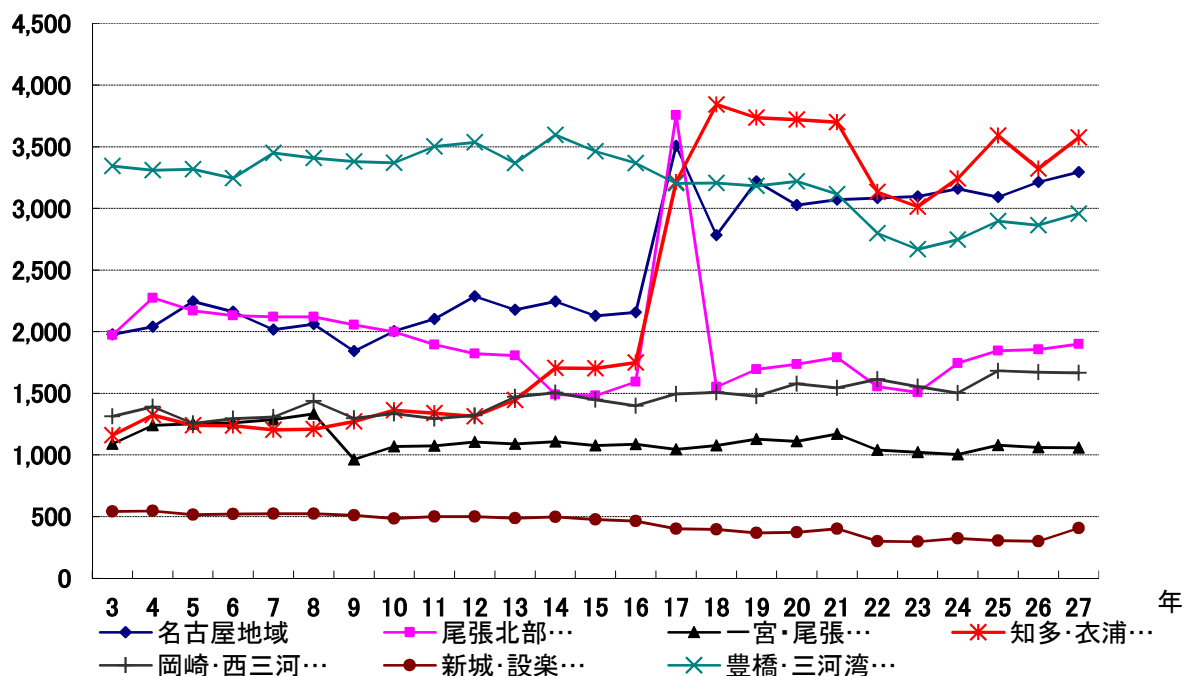
図4-1 地域別利用者割合



また、地域別利用者数の推移を見ると、尾張北部地域及び名古屋地域において、平成17年が最も多くなっているが、これは愛知万博開催によるものである。また、知多・衣浦地域において、平成17年から平成18年にかけて急増しているが、これは中部国際空港の開港によるものである。

万人

図4-2 地域別利用者数の推移



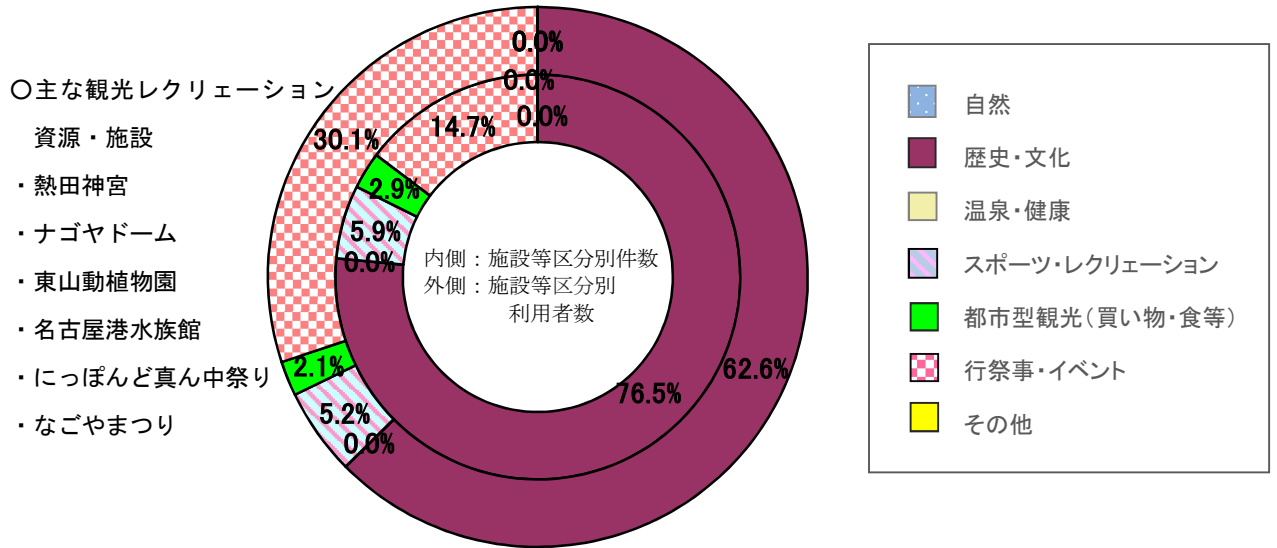
【地域の特徴】

①名古屋地域

施設等区分別件数を見ると、「歴史・文化」が26件で、全体の76.5%を占めている。

施設等区分別利用者数を見ると、「歴史・文化」の利用が20,624,577人で、全体の62.6%を占めている。(図4-3)

図4-3 名古屋地域

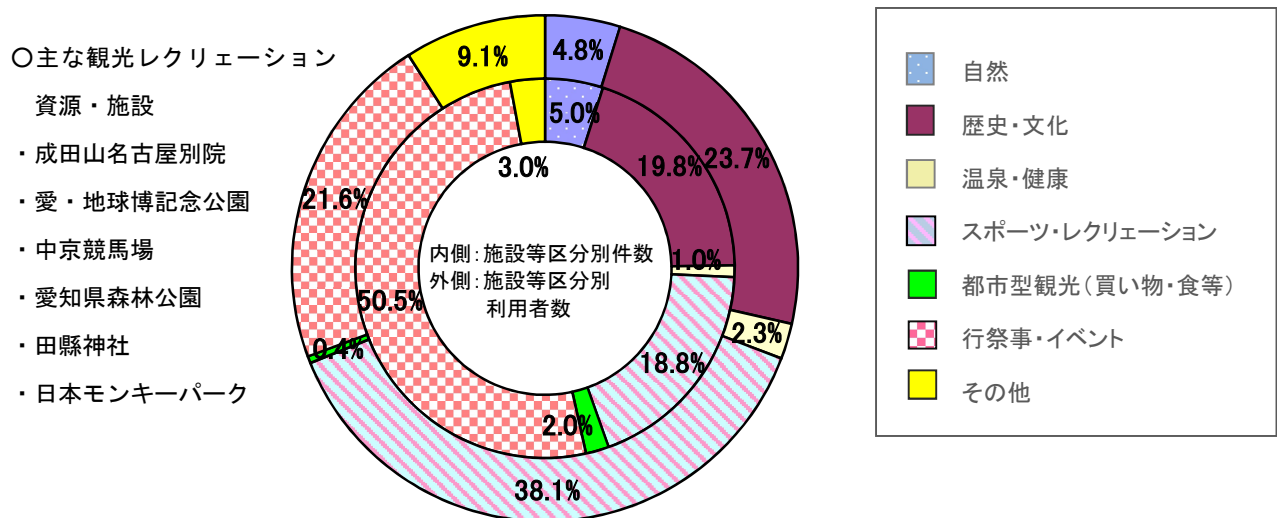


②尾張北部地域

施設等区分別件数を見ると、「行祭事・イベント」が51件で、全体の50.5%を占めている。

施設等区分別利用者数を見ると、「スポーツ・レクリエーション」が7,234,786人で、全体の38.1%を占めている。(図4-4)

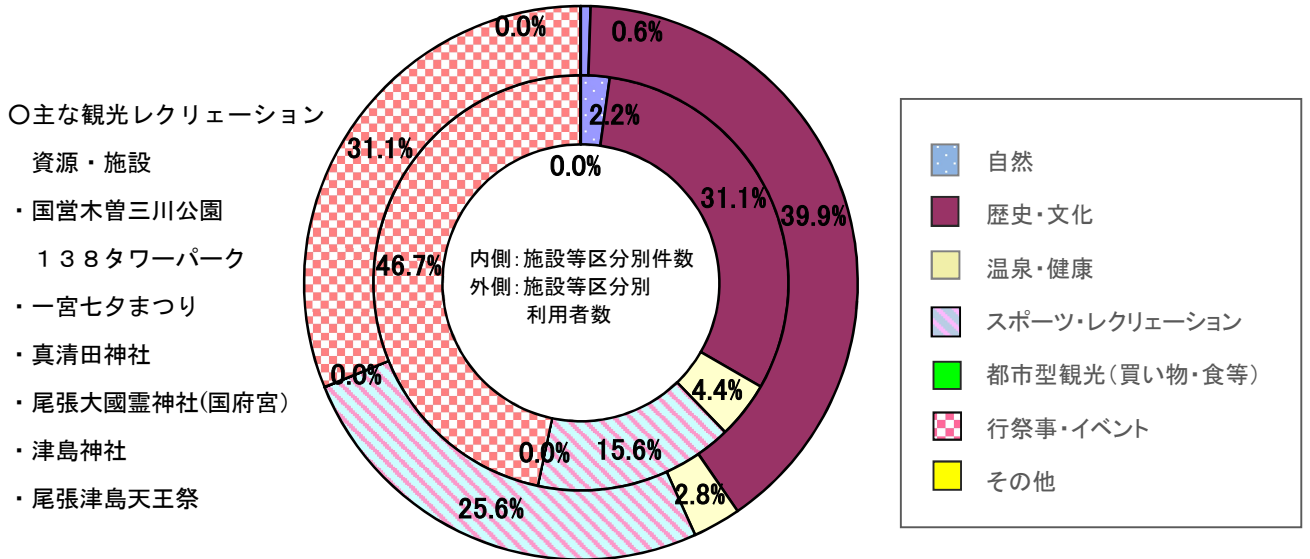
図4-4 尾張北部地域



③一宮・尾張西部地域

施設等区分別件数を見ると、「行祭事・イベント」が21件で、全体の46.7%を占めている。
 施設等区分別利用者数を見ると、「歴史・文化」の利用が4,216,817人で、全体の39.9%を占めている。(図4-5)

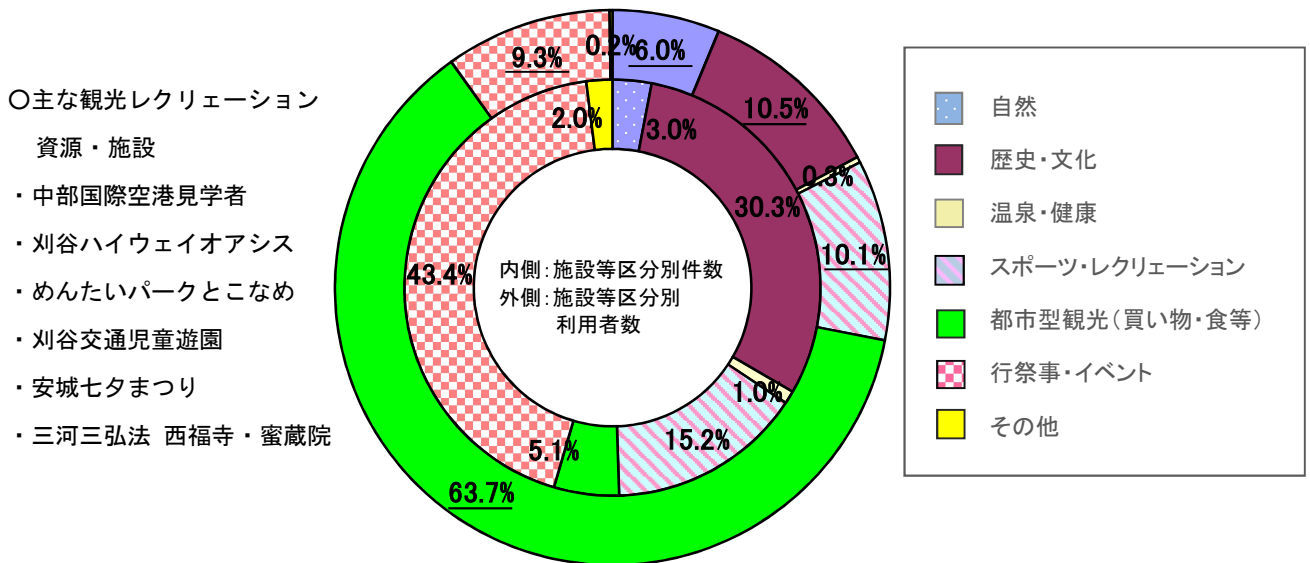
図4-5 一宮・尾張西部地域



④知多・衣浦東部地域

施設等区分別件数を見ると、「行祭事・イベント」が43件で、全体の43.4%を占めている。
 施設等区分別利用者数を見ると、「都市型観光—買い物・食等—」の利用が22,768,796人で、全体の63.7%を占めている。(図4-6)

図4-6 知多・衣浦東部地域



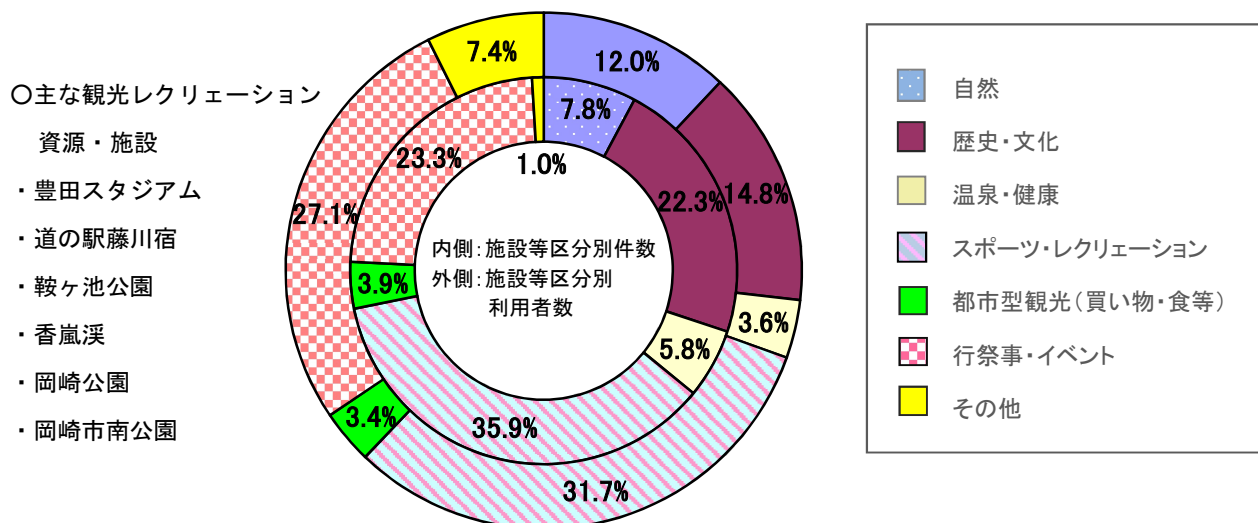
⑤岡崎・西三河内陸地域

施設等区分別件数を見ると、「スポーツ・レクリエーション」が 37 件で、全体の 35.9%を占めている。

施設等区分別利用者数を見ると、「スポーツ・レクリエーション」が 5,279,569 人で 31.7%、次に「行祭事・イベント」が 4,513,476 人で 27.1%となり、全体の 58.8%を占めている。

(図 4-7)

図4-7 岡崎・西三河内陸地域



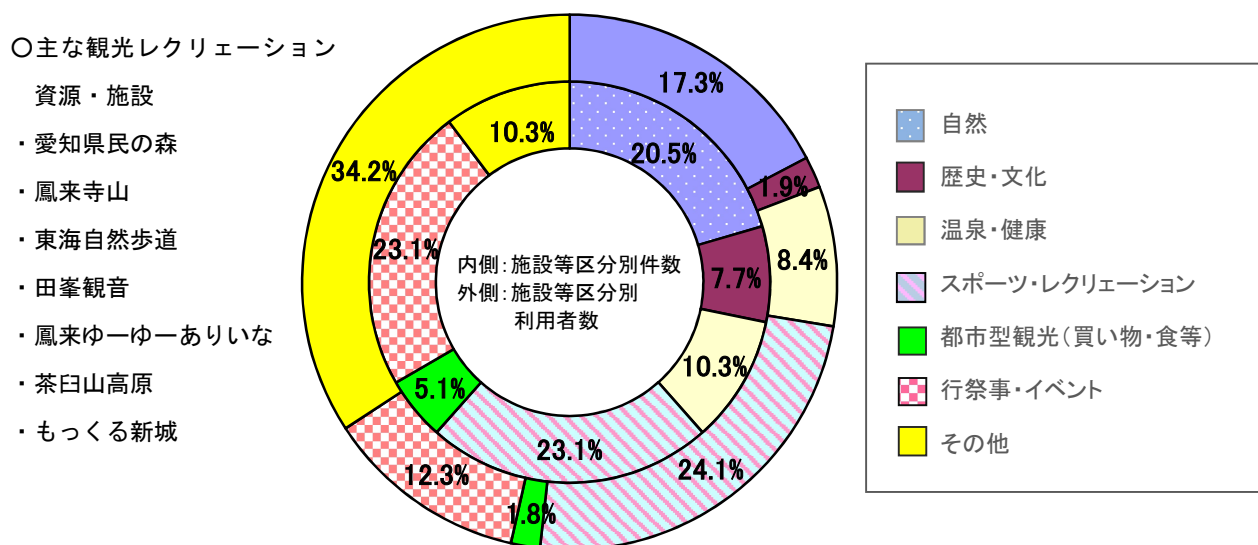
⑥新城・設楽地域

施設等区分別件数を見ると、「行祭事・イベント」と「スポーツ・レクリエーション」が 9 件で 23.1%、及び「自然」が 8 件で 20.5%と、同じくらいの割合である。

施設等区分別利用者数を見ると、「その他」が 1,384,585 人で 34.2%、次に「スポーツ・レクリエーション」が 976,604 人で 24.1%、続いて「自然」が 700,592 人で 17.3%となっている。

(図 4-8)

図4-8 新城・設楽地域



⑦豊橋・三河湾地域

施設等区分別件数を見ると、多様な観光資源・施設に恵まれている。

施設等区分別利用者数を見ると、「歴史・文化」が8,830,631人で29.9%ともっとも多いが、「スポーツ・レクリエーション」が7,622,449人で25.8%、「都市型観光一買い物・食等」も5,460,563人で18.5%となっており、観光資源・施設がバランスよく利用されている。

(図4-9)

図4-9 豊橋・三河湾地域

